

画像関連学会連合会設立趣意書

情報流通技術のなかでも、画像関連の諸技術は、人の五感のうち視覚を介して情報を伝達するという共通の基盤をもつにもかかわらず、関連の学協会や工業会は個別技術に立脚した独自の活動を主として展開して来ました。しかしながら、情報のデジタル化によって、画像の入力から出力に至る情報処理プロセスは、実質的にも、より共通の技術基盤を持つに至りました。情報技術が社会インフラとなった今、今後の情報社会の発展を考えると、視覚特性の把握、空間情報の入力、画像への情報加工、画像の出力・表示、画像の認識を含めた幅広い分野での技術革新と画像を有効に用いた社会的システムの構築を考えて行くことが必要であり、その実現に向けて、基礎となる学術領域、関連産業を横断的に結び付ける場の構築が必要となります。同時に、また、その有効性を担保する画像関連技術の様々な標準化も求められることにもなります。

このような社会要求に対して答える為に、画像関連諸分野の学協会が集い、協力することにより、統合的な画像の取り扱いに立脚した画像技術の新たな展開に寄与する画像に関連する情報の発信と議論の場を提供することを目的に、その拠点作りの活動を2012年から開始し、その準備を進めてまいりました。

画像に関わる諸分野を網羅的に扱うにはまだまだ不十分とはいえ、統合的な活動を一日でも早く開始し、この目的に資する場の提供を行うという観点から、「画像関連学会連合会」を設立することをここに提案いたします。

なお、この連合会では協同事業として、秋季合同研究会の開催、ならびに、国際会議として、ICAI2015(The 1st International Conference on Advanced Imaging 2015)を2015年6月に開催し、今後、本連合会の協同事業として発展させていく予定であります。

この連合会は門戸を広く構え、画像あるいは画像の基盤となる関連分野の研究者・技術者が自由に参加できる団体であることを目指しております。

貴会におかれましては、ぜひこの趣旨をご理解いただき、御賛同、御参加下さいますようお願い申し上げます。

2014年4月1日

画像関連学会連合会
議長 半那純一